

得ヘキモノナルモ其定員ヲ更正セサル前現
員ヲ増加シタルハ不都合ノ次第ナレ氏全ク
一時ノ誤認ニ出タルモノニ付内務大臣稟
議ノ通不問ニ措カレ可然哉

本人ノ通牒案

別紙進退伺ノ趣ハ不問ニ措カレ候
條此旨及通牒條也

明治廿年五月四日 書記官長

内務省ノ通牒

内務大臣 第四十二號

別紙埼玉縣大里藩羅榛澤男衾郡長平井
光長進退伺ノ件提出ス

明治廿年五月二日 内務大臣伯爵山縣有朋



内閣總理大臣伯爵黑田清隆殿

埼玉縣大里藩羅榛澤男衾郡長平井光長進退伺
ノ件

(案) (書)

埼玉縣大里藩羅榛澤男衾郡長平井光長ヨリ
別紙進退伺出タルニ依リ 審査スルニ大里郡玉作村地内
大和藩と大小ニ箇ノ門樋ハ大里郡五ヶ村横見郡三ヶ
村ノ関涉區域ニ有之処大小樋トモ已ニ朽腐シタルヲ以改
修ニ計畫ヲ為ス方リ組合戸長一日ヨリ懇請モ有之
棟化石ヲ以一門樋ニ改築セシトスルニ其費額豫算金
五千八百圓ノ内貳千六百四拾圓餘ハ縣會ノ決議ヲ
以地方税ヨリ補助スルトナリシニ依リ其町村費ニ係ル
分金三千百七拾四圓餘ハ水利土切會ヲ開キ其賦
課徵收方ヲ議セシメタルニ該議會ニ於テ之ヲ否決シタ

り然ニ本郡長ハ兼テ人民ノ懇請ノ旨戸長ヨリ申出
ノ趣モ有之且工事ノ時季ニ違ハシヲ恐レ準備ノ
為メ工事必需ノ諸品ヲ購買シ人夫ヲ使用シテ
似メ切等ヲ為シタルニ本案否決トナリタルヲ以テ其設計
後費ニ屬シ不用物品ヲ賣却セントスルハ允金千九
百圓ノ損失ヲ生セントスルニ至レリ右ハ會議ノ議決ヲ
待タズ專斷ヲ以テ物品ヲ購買シ人夫ヲ使用シ遂ニ
巨額ノ損失ヲ醸生セントスルニ至リタル段職務上不都
合、以第ナレ其後右損失補填ヲ該會ノ評決ニ付
セシニ該會ニ於テモ其工事ノ必用ニシテ之ヲ損失ニ歸ス
ルノ得策ニアラザルヲ覺リ最前ノ計畫ヲ以テ工事ヲ起スヘキ
ニ評決セシヲ以テ更ニ議案ヲ發セシニ遂ニ原案ニ可
決シタルニ依リ前顯ノ金額損失トナラサルニ至リタル旨

該縣知事ヨリ申出ノ趣モ有之付情狀ヲ酌量シ謹
責ヲ加フルニ止メラレ可然ト思考ス右閣議ヲ請フ

明治廿五年五月二日

内務大臣伯爵山縣有朋



寺罪書

部内寺里郡玉作村地内大和落門榎儀等外横見郡
 跨候見寺共其地先村々堂屋等故次是末當座
 管理し属し候モリシテ明治十七年區町村會法改正後
 其末區域ノ指定無之中ト雖モ依然當座ニ於テ主
 トシテ管理致仕候然ルモ明治二十年五月該區域ヲ調査
 スルニ當リ關係村戸長一風連署スル中ニ區域決定目
 水利土切會規則御發布ノ上明治二十一年度ニ於テ煙草
 ニ改良ノ計畫アリ度者及其理由述ベテ依テ之ヲ調査
 セシニ當時ノ實況ニ於テハ大小二個門地内小一個ハ已ニ潰
 廢シテ一日モ難措而大一個ハ未タ小方ノ如クナリサレバ
 レトハ九分腐朽シ又數年ヲ支ヘサル狀アリテ洵ニ戸長ノ上
 申ス所ノ如クナリシ即チ費用其他便否ヲ計較セシ
 甲八七

保名及に經濟共、煉瓦製、改良工事ヲ施行せん、
要領ヲ得たり然し、然レテ事ハ本シ易クシテ費用ノ償、
今古ノ實績ナリ、今戸長、上申ノ者ヲ考査スル、實ニ為
サニルヘカナルノ工事ナリト雖、民力之カ施工ヲ為セトスルハ一時多額
ノ費用ヲ徴收セザルヲ得ス而、能ク民力ヲ堪ヘン所ナルヤ否ヲ視
察スル、是必要ノ点ト存シ、第ト其状況ヲ監査セシ、關係
人民粗一致シ而、該工費ノ如キ、將來ノ經濟ニ對スルモノナルニ
依リ、若シ村費ノ負擔ニ堪ハシ、時ニ或ハ寄附ニ或ハ招フ義、
以テ用度ヲ繰スルニキ、若シ戸長ニ於テ明言シ、其明言、則人民
ノ意思ニシテ亦、物ヒナキヲ認科シ、於茲愈煉瓦製改良工
事ヲ明治三十二年度ニ於テ施行スルノ緊要ニシテ、復々、
付スヘカナルヲ確認シ、乃チ區域調査ノ事ヲ戸長ニ付、
以テ急ニ其指定及、水利切會規則發布ノ儀、此公權

見、部長連署ノ、且申セシ、同年十月、其裁定アリ、且先
ノ上申、依リ、技手ヲ派遣、工事ヲ設計セラル、ヲ得、因
リテ直チニ該工費ニ對シ、地、役、補助費ヲ請求セシ、事、
其幾分、補助ヲ得、事ト相成、タリ、以、先、議、會、評、定
ニ付、ス、キ、處、費用巨額ニシ、其收入法、適、當、案、ヲ得
サレ、之、シ、テ、發表、シ、カ、タ、キ、ヲ、以、東、而、奔、走、力、メ、テ、周、旋、セ、シ、タ、
終、ニ、其、良、案、ナリ、即、今、至リ、策、ヲ、定、メ、漸、ク、去、ル、九、日、
以、テ、議、會、ヲ、開、設、シ、議、決、ヲ、發、付、セ、シ、モ、議、會、ニ、於、テ、異、表
ノ、議、ヲ、呈、出、シ、終、ニ、改、良、工、事、議、案、ハ、否、決、ス、ル、處、ト、ナリ、而
モ、尚、本、工、事、ハ、元、來、人民ノ願、望、ニ、由リ、テ、起、シ、タ、ン、モ、ノ、ミ、テ、
偶、然、ノ、評、決、ニ、任、ス、ヘ、カ、ラ、サ、ル、ヲ、信、シ、原、案、施行、ノ、儀、具、狀、セ
シ、ト、雖、モ、敢、テ、其、評、決、ヲ、得、ス、然、レ、モ、既、ニ、陳、ス、ル、ハ、本、工、事
ハ、關係、戸、長、總、俸、ニ、於、テ、部、民、ノ、意、思、ヲ、代、表、シ、テ、願、望

是處事業業々、因リ議會ニ於テ他ノ儀ヲキミヤラス時期ヲ
 過ルモ抑テ却テ我ノ信用ヲ傷スル恐レアリ、則其評決ニ先
 テ相當ノ用意即チ準備ヲ為スハ親切ノ為メ、欠クヘカラサ
 ル要點ト料定シ豫メ所用ノ木材物品ヲ買入或ハ人吏ヲ
 使用シテ反メ切ラセシムル等ノ手續渾テ議決否決否
 ニ全ク無用ノ事物ニ屬シ候故ニ所謂親切友ツテ仇ト為
 リタル我ニシテ止ラザ得サニ事ニ候具共多少損害ヲ醸
 シ候段恐入候因テ謹テ奉テ待罪候也
 明治三十一年五月十一日 埼玉縣大里藩羅榛澤男倉郡長平井光長

内閣總理大臣伯爵伊藤博文殿

官印ハセ

明治三十一年五月十一日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

埼玉縣大里藩羅榛澤男倉郡長平井光長
進退伺ノ件

別紙埼玉縣大里藩羅榛澤男倉郡長平井光長進退
 伺ノ件ヲ調査スルニ右ハ大里郡玉作村地内大小二箇ノ門樋
 腐朽セシヲ以テ組合戸長等懇情モ有之煉化石ニテ一門樋ニ改
 修ノ計畫ヲ為シ費額豫算金五千八百圓ノ内貳千六百圓四

ハ地方税ヨリ補助ノ一ニ縣會ノ決議ヲ經其裁額即チ町村
費ニ係ル分ハ水利土木會ヲ開キ賦課徴収方ヲ議セシメタルニ
該會ハ之ヲ否決シタリ然ルニ本郡長ハ案ヲ戸長申立ノ旨モ有
之且工事ノ時季ニ違ハシテ恐レ該會ノ議決ヲ待タズ專斷
ヲ以テ工事必用ノ物品ヲ購買シ人吏ヲ使用シ仮一切ヲ爲シタルヲ
以テ本案否決ノ爲メニ設計徒費ニ属シ千九百四十ノ損失ヲ生セ
シトスルニ至リタル義ニシテ職務上不都合ノ次第ナレ其後右
損失補填ヲ該會ノ評決ニ付セシニ同會ニ於テモ其工事ノ必
要ニシテ之ヲ損失ニ歸スルノ得策ナラサルヲ覺リ更ニ最前ノ
計畫ヲ以テ起スル一ニ可決シタルニ付テハ前題金額モ損失

トナラサル趣ニ付情狀ヲ酌量シ内務大臣稟議ノ通謄
責相成可然哉

辭令案

埼玉縣大里藩羅澤男衾郡長平井光長
埼玉縣下大里郡玉作村地内門樋改修工事準備ノ
爲ノ水利土木會ノ議決ヲ待タズ專斷ヲ以テ物品ヲ購
買シ人吏ヲ使用シ巨額ノ損失ヲ生セントスルニ至リタル
段不都合ニ付譴責ス

明治廿一年五月十七

一、本縣大甲極羅榛澤男義郡長平井光表一

第...三編

本縣大甲極羅榛澤男義郡長平井光表一

謹責辭令御回付相成り付ハ傳達方取計

即チ別紙受書迄及御返成也

明治三十一年五月十五

本縣知事高田清並



内閣書記官

御中

一 遣責御辭令

壹通

右本縣知事 經手傳達成謹 持載仕俵也

明治三十五年五月十四日

埼玉縣太田藩雅漢男兼郡長井光長



内閣書記官

傳中

内務大臣官房 乙第四十四號

別紙愛媛縣郡長兼師寺爲好進退細
件提出

明治廿年五月九日内務大臣官房山縣有朋

内閣總理大臣官房黑田清隆殿

